



エピソード

スズランテープでつくったポンポンを手に持ち、ダンスを楽しんでいた子ども達。保育室のドアのところで A 児が「ねえ！見て見て！」と手に持ったポンポンが風になびいている様子を友達や保育者に伝えました。A 児はみんなに見てもらいたい様子で何度も「見て！すごいでしょ」「こいのぼりみたいだよ」と知らせています。保育者が「おもしろいね！こいのぼりに見えたの？」と問いかけると「そうだよ！ほら、一緒だよ！」と保育室から見える園庭のこいのぼりを指さしました。近くにいた友達も持っていたポンポンを同じように風になびかせると「私のも見て！」と嬉しそうに言いました。そばにいた数人が同じように真似て遊び出しました。楽しそうに遊び出した子ども達を見て、保育者が「どうしてこんな風にポンポンがこいのぼりみたいになるのかな」と聞くと「風が吹いているからだよ」と A 児。廊下に出て、こいのぼりの近くで風を感じていた子ども達でした。

子どもの育ちや学び

- ・自分の思ったことや感じた事ことを友達に伝えた。
- ・風がふくことでこいのぼりやポンポンがなびくことを知り、友達と一緒に体験した。

保育者の思い

- ・ポンポンが風になびく様子を園でいつも見ているこいのぼりと重ね、自分の感じた事を話している姿を認めたい。また、A 児の気づきが周りの友達にも伝わってほしい。
- ・ポンポンを持って廊下に出ることで、より風を感じようとしている姿を見守りたい。
- ・保育者や友達も一緒にポンポンをなびかせることで、より楽しい体験となっていると感じた。

家庭だったら・・・

大人にとっては当たり前だと思っていることも子ども達にとっては大きな発見です。自然現象の不思議さや面白さに出会うことで、子ども達の目はキラキラと輝きます。そんな感動体験が「なぜ」「どうして」と考えるきっかけになるのではないのでしょうか。子ども達の楽しい発見を是非、一緒に楽しみましょう。